

日本混相流学会主催
日本混相流学会混相流シンポジウム 2015 講演発表募集

【主 催】 日本混相流学会

【協 賛】 (予定) 化学工学会、可視化情報学会、火力原子力発電技術協会、空気調和・衛生工学会、計測自動制御学会、資源・素材学会、石油学会、ターボ機械協会、土木学会、農業農村工学会、日本ウォータージェット学会、日本埋立浚渫協会、日本エアロゾル学会、日本機械学会、日本空気清浄協会、日本原子力学会、日本航空宇宙学会、日本材料学会、日本浚渫・空気圧送協会、日本船舶海洋工学会、日本鉄鋼協会、日本伝熱学会、日本冷凍空調学会、日本バイオレオロジー学会、日本マリンエンジニアリング学会、日本ボイラ協会、日本フルードパワーシステム学会、日本流体力学会、粉体工学会、日本雪氷学会、日本雪工学会、日本液体微粒化学会、日本洗浄技能開発協会

【開催日】 2015年8月4日(火)、5日(水)、6日(木)

【会 場】 高知工科大学(高知県香美市土佐山田町)

【ホームページ】 <http://www.jsmf.gr.jp/mfsymp2015/>

【開催趣旨】

日本混相流学会 混相流シンポジウム 2015 は、2015年8月4日(火)～6日(木)の期間、高知工科大学(高知県香美市)で開催されます。本シンポジウムはオーガナイズドセッションと一般セッションから構成されており、研究成果とその討議を通じて、混相流の学理とその応用技術に関する最新の情報交換を行い、混相流研究のさらなる展開と参加者相互の活発な意見交換を目指しております。混相流は、固体・液体・気体を含む複雑流動現象であり、かつ自然界から産業プラントにまで広く見られる普遍的な流動現象です。オーガナイズドセッションとしては、混相流が広範囲の産業と密接に係わりがあることを踏まえ、環境、材料、機械、土木、原子力、化学、航空宇宙、などを横断的に含む内容を取り上げております。

このように、混相流シンポジウム 2015 では、混相流関連の研究そして技術開発に携わっておられる研究者や技術者ならびに混相流を中心とした最新の科学技術の進展にご関心のある方々による多数の講演発表と活発な意見交換を期待しております。どうぞ、奮っての講演発表そして参加のお申し込みをお願い申し上げます。

日本混相流学会 混相流シンポジウム 2015 実行委員長
蝶野 成臣(高知工科大学)

【オーガナイズドセッションのご案内】講演募集・問合せ先

OS-1 混相流の産業利用

キーワード：混相流の応用技術、産業機械における混相流、混相流を用いた新技術

オーガナイザー：片岡 勲(阪大)、吉田憲司(阪大)

[片岡：kataoka@mech.eng.osaka-u.ac.jp]

OS-2 界面の物理と流れ

キーワード：ぬれ、接触角、界面張力、格子ボルツマン法、粒子法

オーガナイザー：加藤健司(大阪市大)、吉野正人(信州大)、井口 学(北大)、山本恭史(関西大)、波津久達也(東京海洋大)、伊藤高啓(名大)、瀬田 剛(富山大)、高田尚樹(産総研)

[加藤：katoh@mech.eng.osaka-cu.ac.jp]

[吉野：masato@shinshu-u.ac.jp]

- OS- 3 物質輸送と水処理
 キーワード：気泡流、マイクロバブル、多重スケール解析、水質浄化、曝気槽、溶解効率、界面活性剤
 オーガナイザー：土屋活美（同志社大）、細川茂雄（神戸大）、金子暁子（筑波大）
 [土屋：ktsuchiy@mail.doshisha.ac.jp]
- OS- 4 混相噴流・後流・はく離流れの流動と制御
 キーワード：渦、計測、シミュレーション、制御
 オーガナイザー：内山知実（名大）、社河内敏彦（三重大）、祖山 均（東北大）、川原顕磨呂（熊本大）
 [内山：uchiyama@is.nagoya-u.ac.jp]
- OS- 5 サステナブル異分野融合型混相流
 キーワード：持続可能性、高応答性流体、異相界面変形と相互作用、分裂と微粒化、ナノ粒子生成、マイクロフレーム、プラズマ流動、MHD、磁性流体、カーボンナノチューブ、反応性・機動性流動、ナノクリーニング、災害リスク科学、バイオ流動
 オーガナイザー：石本 淳（東北大）、落合直哉（東北大）、姫野武洋（東大）、桑名一徳（山形大）、中村祐二（北大）、小原弘道（首都大学東京）、高奈秀匡（東北大）、本澤政明（静岡大）、茂田正哉（大阪大）、松浦一雄（愛媛大）、伊賀由佳（東北大）
 [石本：ishimoto@fmail.ifs.tohoku.ac.jp]
- OS- 6 微小重力下の沸騰・二相流と宇宙熱輸送システム
 キーワード：重力依存性、微小重力、宇宙用排熱機器、ヒートパイプ、極低温流体
 オーガナイザー：浅野 等（神戸大）、今井良二（室蘭工業大）、川崎春夫（JAXA）、河南 治（兵庫県立大）、岡本 篤（JAXA）、長野方星（名古屋大）
 [浅野：asano@mech.kobe-u.ac.jp]
- OS- 7 自然現象の中の混相流
 キーワード：碎波、気泡連行、底質輸送、土砂投入、数値解析、計測技術、気象、火山、地震、土石流、地すべり、海洋、海洋汚染、氷海、雪氷
 オーガナイザー：川崎浩司（ハイドロソフト技術研究所）、荒木進歩（大阪大）
 [川崎：kawasaki@hydro-soft.co.jp]
- OS- 8 粒子系混相流および粒状体挙動のモデリングとシミュレーション
 キーワード：粒子・流体カップリングモデル、マルチスケールモデリング、検証技術、粒子系混相流の物理
 オーガナイザー：田中敏嗣（大阪大学）、原田周作（北海道大）、内山知実（名古屋大）、武居昌宏（千葉大）、酒井幹夫（東京大学）、桑木賢也（岡山理科大）、川口寿裕（関西大）
 [田中：tanaka@mech.eng.osaka-u.ac.jp]
- OS- 9 混相流れのダイナミクス
 キーワード：キャビテーション、気液二相流、ウォータージェット、固気液流動、気泡、液滴、界面流れ、相変化
 オーガナイザー：渡部正夫（北大）、杉本康弘（金沢工大）、小笠原紀行（大阪府大）
 [渡部：masao.watanabe@eng.hokudai.ac.jp]
- OS-10 相変化を伴う混相流の熱流動
 キーワード：相変化（沸騰・蒸発・凝縮・融解・凝固）、気液・固気・固液・液液二相流&三相流、界面現象、熱伝達
 オーガナイザー：大竹浩靖（工学院大）、棚谷吉郎（金沢工大）、永井二郎（福井大）
 [大竹：ohtake@cc.kogakuin.ac.jp]
- OS-11 マイクロ・ナノバブルの科学と技術的展開
 キーワード：マイクロバブル、ナノバブル、発生源、計測法、物理・化学・電気特性、生理活性、利用技術
 オーガナイザー：氷室昭三（有明高専）、赤対秀明（神戸高専）、寺坂宏一（慶応大）、南川久人（滋賀県立大）、細川茂雄（神戸大）
 [氷室：himuro@ariake-nct.ac.jp]
- OS-12 原子力分野における混相流技術と応用
 キーワード：原子炉熱流動、シビアアクシデント、安全、液体金属、再処理、処理処分、中間貯蔵、輸送、

拡散、計測、可視化

オーガナイザー：三輪修一郎（北大）、師岡慎一（早大）、武田哲明（山梨大）、齊藤泰司（京大）

[三輪：smiwa@eng.hokudai.ac.jp]

OS-13 マイクロ・ミニスケールの混相流

キーワード：マイクロ・ミニチャンネル、バイオ、流動、伝熱、マイクロ TAS、MEMS、機能性粒子、混合、分離

オーガナイザー：武居昌宏（千葉大）、川原顕磨呂（熊本大）、井手英夫（鹿児島大）、市川直樹（産総研）、本間俊司（埼玉大）、小野直樹（芝浦工大）

[武居：masa@chiba-u.jp]

【一般セッションの講演募集テーマ】

- | | |
|---------------|----------------|
| GS-1 混相流の物理 | GS-2 混相乱流 |
| GS-3 混相流の数値解析 | GS-4 相変化 |
| GS-5 界面現象 | GS-6 原子力・火力・環境 |
| GS-7 混相流の輸送 | GS-8 液体の微粒化 |
| GS-9 その他 | |

[辻：konsosymp@jsmf.gr.jp]

【講演についてのご案内】

- (1) 一般講演について、講演の採否は年会実行委員会にご一任願います。
- (2) 一般講演について、1件につき講演時間10分、討論時間10分の予定ですが、件数によって多少変更がある場合もありますので御了承下さい。
- (3) 講演論文原稿は、A4用紙（26文字×60行×2列＝3、120字/頁）2枚とします。原稿の形式については例年の通りで、書式ダウンロードのページに掲載すると同時に講演申込者に改めてお知らせ致します。
- (4) 英文も受け付けます。英文の場合は、A4用紙（9 point、single space、double column）2枚とします。
- (5) 整理の都合上、講演題目、著者については、申込時のものから変更しないようお願い致します。
- (6) 申し込みに際しては、講演題目、著者に加えて、OS/GSセッション番号（第1～第3希望まで）を記載下さい。なお、最終的な講演セッションについては実行委員会で調整し、他のOS/GSセッションでお願いすることもありますのでご了承下さい。
- (7) 特集号の出版を予定しています。この混相流シンポジウム2015で一般講演発表された中から推薦された講演について、論文として日本混相流学会誌へ投稿して頂き、「混相流シンポジウム2015論文特集号」を出版します。なお、通常の混相流学会誌論文と同一の査読手続きを行います。特集号への掲載を希望される方は、推薦審査の都合上、原稿提出時に「特集号への掲載希望」と申し出て下さい。

【講演申込期間】 2015年1月26日（月）～3月16日（月）

【採否通知】 2015年4月10日（金）

【原稿提出締切】 2015年6月8日（月）

【講演会の会期】 2015年8月4日（火）～6日（木）

【講演申込についてのご案内】

年会講演会ホームページ (<http://www.jsmf.gr.jp/mfsymp2015/>) の「講演申込方法」にある講演申込フォームを利用し、申込を行って下さい。申込期限は、2015年3月16日（月）です。なお、ホームページでの申込に支障がある場合は、下記項目を記入してE-mailまたはFaxでお申込み下さい。

- (1) 講演表題、およびその英訳

- (2) 著者氏名・所属機関名略称、およびそれらの英訳、会員資格（協賛学協会会員、学生会員、会員外）。講演者に○印をつけ、その講演者が学生の場合、その旨を記載。
- (3) 著者代表者の連絡先（氏名、所属機関、所在地、電話とFaxの番号、E-mailアドレス）
- (4) 講演の概要（和文の場合200字以内、英文の場合100語以内）
- (5) 講演を希望するオーガナイズドセッションまたは一般セッションの記号を第3希望まで記載。
- (6) OHPおよびパワーポイント用プロジェクター以外の機器を講演で使用する場合は希望器材（機器によっては用意できない場合があります）。

【申込先】 E-mail: konsosymp@jsmf.gr.jp（実行委員会事務局 総務 辻 知宏（高知工科大学））
FAX: 0887-57-2320

【参加申込方法】 ホームページ (<http://www.jsmf.gr.jp/mfsymp2015/>) をご覧下さい。事前申込の場合は、締切期日までに参加費、懇親会費の合計額をホームページ記載の方法で支払い願います。できるだけ事前申込にご協力下さいますよう、お願い致します。

【事前参加申込期間】 2015年6月8日（月）～ 7月3日（金）

【参加費】 事前申込：正会員・協賛学協会会員 10,000円、 非会員（一般）18,000円、 学生会員 5,000円
当日申込：正会員・協賛学協会会員 12,000円、 非会員（一般）20,000円、 学生会員 7,000円

【講演論文集】 混相流シンポジウム2015の参加者には、当日、USBメモリーに収録された論文集を配布致します。
なお、論文集のみご希望の方は、1部4,000円（送料を含む）で発送致します。

【振込先】 後日ホームページにてお知らせ致します。

【懇親会】 日時：2015年8月5日（水） 18:00～20:00（予定）
場所：三翠園（高知市鷹匠町1-3-35） <http://www.sansuien.co.jp/>
会費：事前申込：一般 7,000円、 学生・院生 3,000円
当日申込：一般 9,000円、 学生・院生 4,000円

【「日本混相流学会学生優秀講演賞」の選考方法の変更について】

2002年に創設されたこの賞は、口頭発表された学生講演を対象として選考してきました。この度、混相流シンポジウム2015におきましては、一人あたり数分のフラッシュトーク（概要説明）とポスター発表を対象として選考する形式に変更いたします。多数の学生の皆さんのエントリーをお待ちしております。

なお、ポスター発表にエントリーした学生が、同一テーマで口頭発表にエントリーしても差し支えありませんが、選考はフラッシュトークとポスター発表で行います。

詳細が決まり次第、本誌会告やWebにてお知らせ致します。

【問い合わせ先】 〒782-8502 高知県香美市土佐山田町
高知工科大学 システム工学群
日本混相流学会 混相流シンポジウム2015実行委員会事務局
辻 知宏
TEL: 0887-57-2319、 FAX: 0887-57-2320、 E-mail: konsosymp@jsmf.gr.jp